

⑪公開特許公報(A) 平3-29456

⑫Int.CI.⁵

H 04 M 3/42

識別記号

庁内整理番号

T 7925-5K

⑬公開 平成3年(1991)2月7日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

④発明の名称 電話発信者名表示方式

⑤特 願 平1-164239

⑥出 願 平1(1989)6月26日

⑦発明者 高林潔 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑧出願人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

⑨代理人 弁理士内原晋

明細書

発明の名称

電話発信者名表示方式

特許請求の範囲

ISDN網のDチャネル信号で送られてくる発信者電話番号情報をDチャネル信号制御手段、電話発信者名記憶手段及びスーパーインボーズ発生手段から成るテレビ画面表示装置により電話発信者名に変換しテレビ受像機にスーパーインボーズによって表示することを特徴とする電話発信者名表示方式。

発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は電話発信者名をテレビ受像機に表示し電話の呼出しがある旨を通知する電話発信者名表示方式に関する。

〔従来の技術〕

従来、ISDN用電話機においては、この電話機のディスプレイ上に発信者電話番号のみを表示している。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら、電話の呼出し音が鳴ってから電話機の置かれている場所に行き、発信者電話番号を電話機上のディスプレイで確認する不便さがあった。

本発明は発信者電話番号の確認をテレビ受像機に表示されるスーパーインボーズによって容易に確認でき、かつその表示を予め登録した発信者電話番号を電話発信者名に変換して行う電話発信者名表示方式を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

本発明の電話発信者名表示方式はISDN網のDチャネル信号で送られてくる発信者電話番号情報をDチャネル信号制御手段、電話発信者名記憶手段及びスーパーインボーズ発生手段から成るテレビ画面表示装置により電話発信者名に変換しテレビ受像機にスーパーインボーズによって表示す

る構成である。

〔実施例〕

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例における電話発信者名のテレビ画面表示装置の接続位置を示したものであり、電話発信者名のテレビ画面表示装置3はISDN用電話機2とテレビ受像機4とに接続される。Dチャネル信号6は発信者電話番号情報をISDN網5に送受信する制御情報であり、網終端装置1を介して行われる。

第2図は第1図に示す電話発信者名のテレビ画面表示装置3の詳細構成図である。Dチャネル制御装置7はISDN網のDチャネル信号により送られてくる発信者電話番号情報を制御し、その情報を電話発信者名のメモリ8に入力し、電話発信者名の情報をスーパーインボーズ発生装置9に送信する機能を有する。電話発信者名のメモリ8は発信者電話番号情報を電話発信者名に変換するものであり、予め電話番号と発信者名との対応関係

が登録用コンソール10から入力されている。スーパーインボーズ発生装置9は変換された電話発信者名をテレビ受像機にスーパーインボーズする機能を有する。第3図はテレビ受像機4に表示されたスーパーインボーズ11を示す。

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明によれば、テレビ受像機に電話発信者名をスーパーインボーズすることにより、利便性を向上させるのみならず、ISDN網の普及に一役を担うことができる。

図面の簡単な説明

第1図、第2図及び第3図は本発明の一実施例を示す図である。

3…テレビ画面表示装置、4…テレビ受像機、7…Dチャネル信号制御装置、8…メモリ、9…スーパーインボーズ発生装置。

代理人 弁理士 内原晋

